

The Next **NPR**

2023年3月期 決算説明会

日本ピストンリング株式会社
2023年6月7日

1. 2022年度決算
2. 2023年度業績予想
3. 経営戦略

【参考】会社概要

1. 2022年度決算

2. 2023年度業績予想

3. 経営戦略

【参考】会社概要

2022年度決算／年度損益比較

- ◆ 前年比で増収・減益（売上高は過去最高）
- ◆ 売上高は為替円安による効果や足許での需要回復により増収も、利益は各種コストの増加を吸収しきれず減益

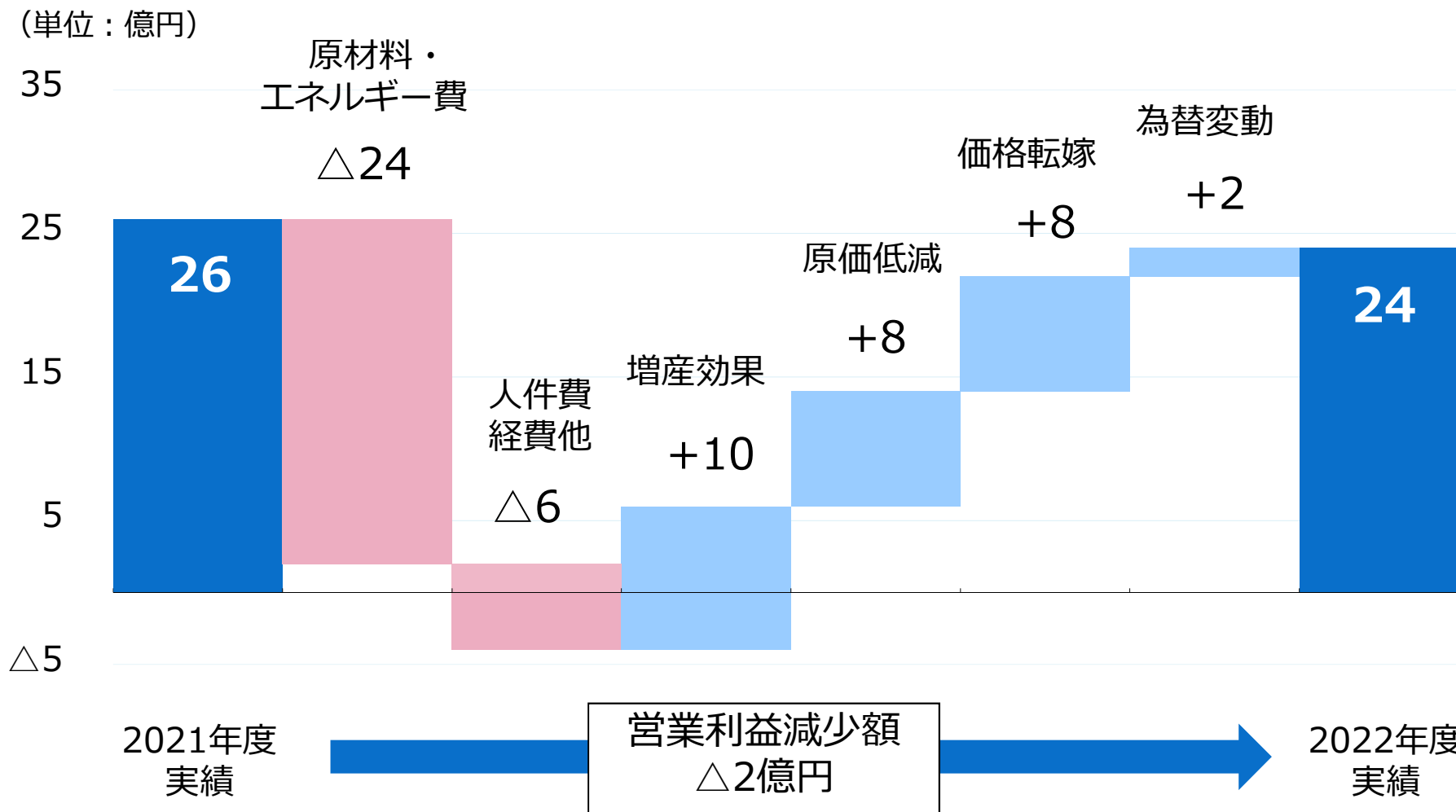
(単位：億円)

	2021年度 実績	2022年度 実績	増減	増減率
売上高	508	585	+77	+15.2%
営業利益 (営業利益率)	26 (5.2%)	24 (4.1%)	△2	△9.2%
経常利益	31	28	△3	△9.9%
当期純利益 ※	19	18	△1	△6.3%
為替レート ドル ユーロ	109.90円 129.91円	131.62円 138.14円	+21.72円 +8.23円	
1株当たり配当金	70円	70円	-円	
R O E	6.2%	5.2%	△1.0%	

※親会社株主に帰属する当期純利益

2022年度決算／営業利益増減要因

- ◆ 原価低減や価格転嫁等の経営努力を推し進めたものの、原材料・エネルギー価格高騰等の外部環境悪化を受け減益



2022年度決算／バランスシート

The Next **NPR**

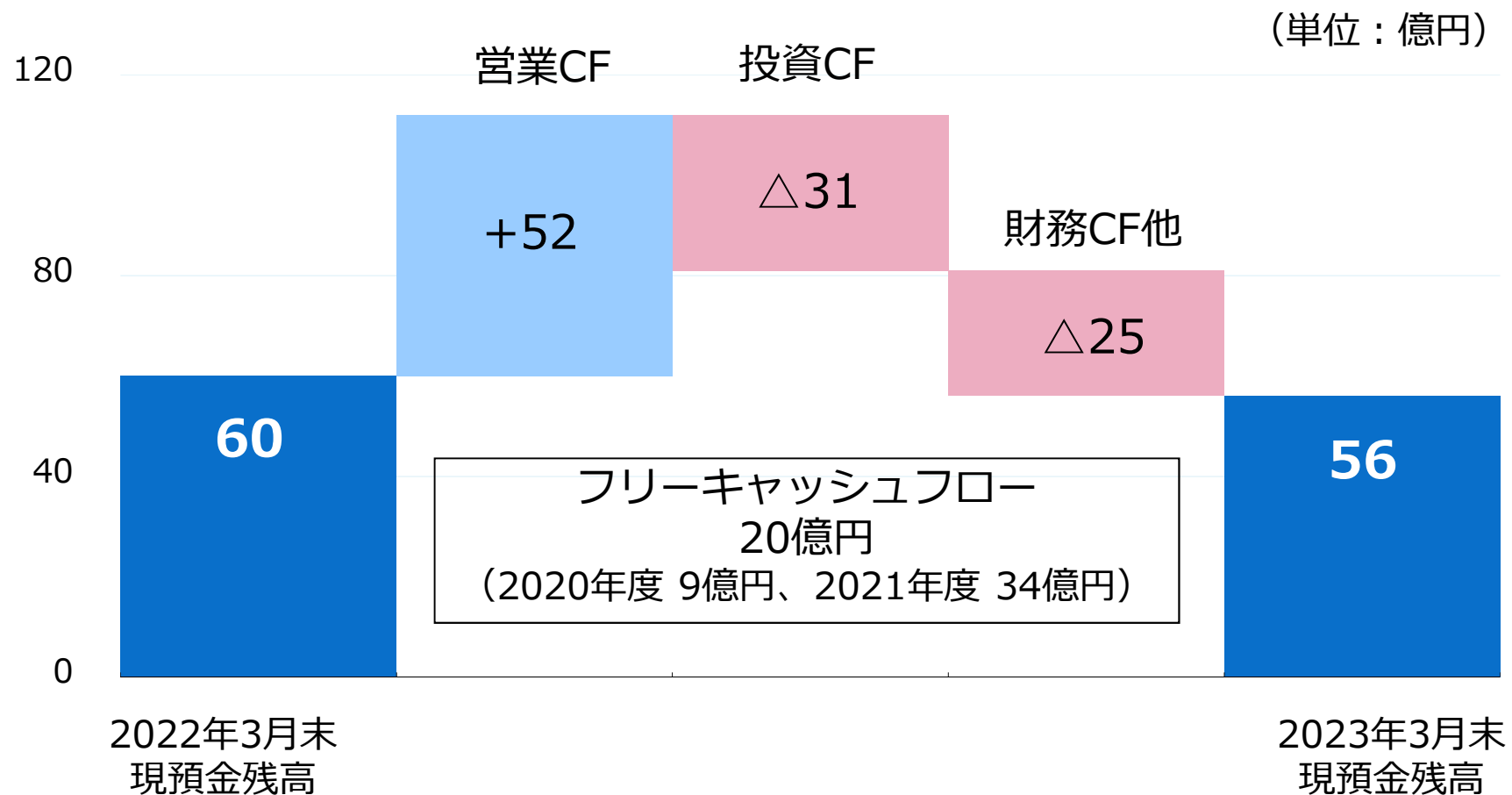
- ◆ 円安、顧客の生産調整や物流の停滞によるリードタイムの伸長等の影響により棚卸資産が増加したが、引き続き健全な財務体質を維持

(単位：億円)

	2022年3月末	2023年3月末	前年度末比
現預金	60	56	△4
売上債権	111	117	+6
棚卸資産	113	133	+20
固定資産	372	362	△10
資産合計	674	688	+15
買入債務	86	92	+6
有利子負債	150	131	△19
負債合計	323	307	△15
純資産	351	381	+30
自己資本比率	49.3%	52.4%	+3.1%
ネットD/Eレシオ	0.27倍	0.21倍	△0.06倍

2022年度決算／キャッシュフロー

- ◆ フリーキャッシュフローは20億円となり、安定経営に必要な水準を維持
- ◆ グループ内の資金を効率的に活用しながら、手元資金を確保しつつ、有利子負債の返済を進めた



1. 2022年度決算
2. 2023年度業績予想
3. 経営戦略

【参考】会社概要

2023年度業績予想／前提条件

<受注環境>

自動車メーカーの新車生産が本格再開する見込みであり、自動車生産台数予測をもとに、下記のストレス要素を反映

<ストレス要素>

外部 要因	車載半導体関連	<ul style="list-style-type: none">・ 年度前半は供給不足の継続を見込む・ 年度後半では一定の回復を想定
	中国・欧州関連	<ul style="list-style-type: none">・ 中国は販売支援策の打ち切り・ 欧州はウクライナ情勢の長期化

<参考> 自動車生産台数予測 IHSデータより

グローバル (2022年) 8,230万台

(2023年) 8,517万台 +3.5%増

中国	2,640万台		2,666万台	+1.0%増
欧州	1,582万台		1,663万台	+5.1%増
北米	1,429万台		1,508万台	+5.5%増
日本	740万台		795万台	+7.6%増

2023年度業績予想／年度損益比較

- ◆ 前年比で増収・増益（売上高は過去最高）
- ◆ 為替レートは、ドル130円、ユーロ140円に設定

(単位：億円)

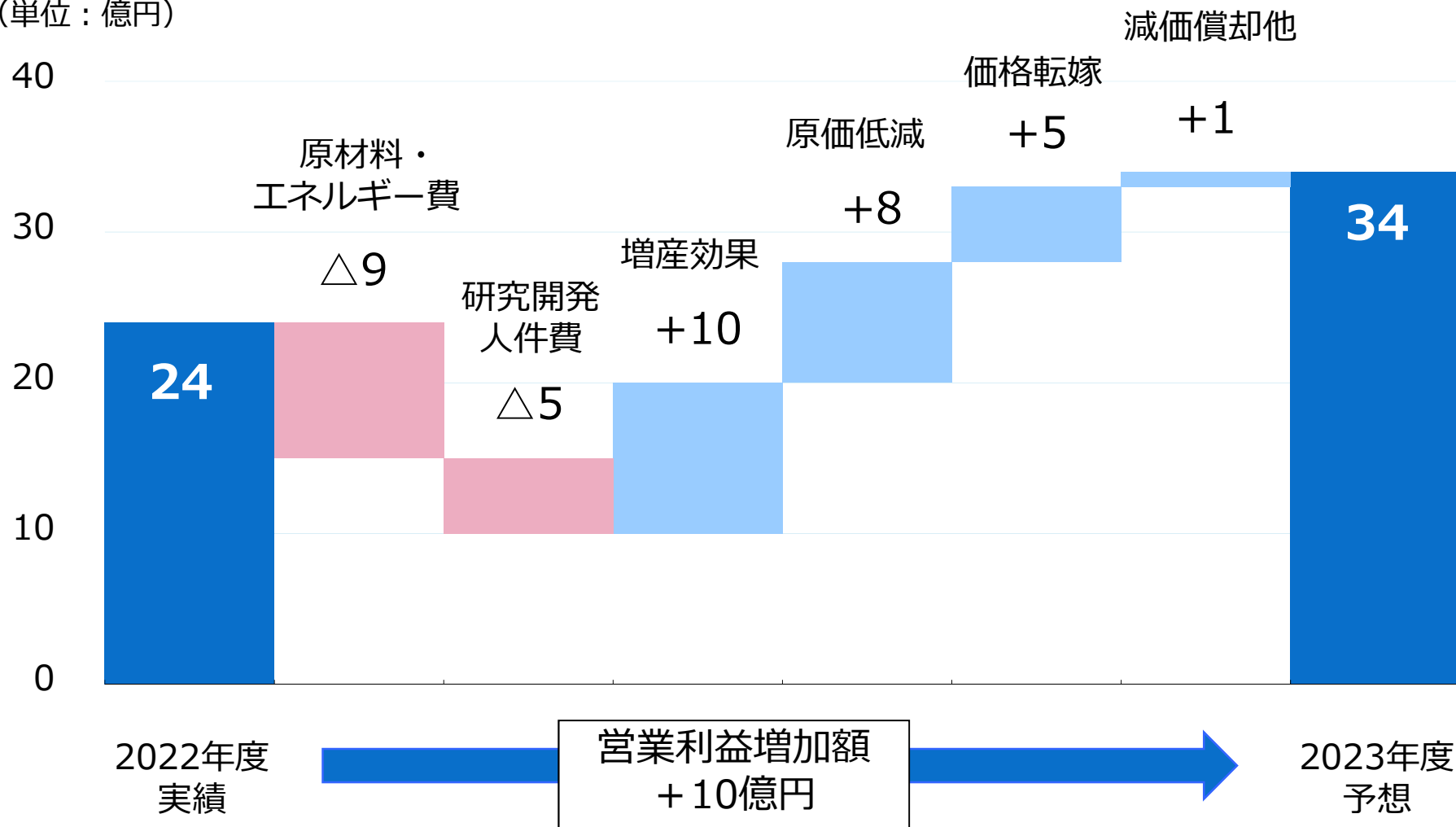
	2022年度 実績	2023年度 予想	増減	増減率
売上高	585	610	+25	+4.2%
営業利益 (営業利益率)	24 (4.1%)	34 (5.6%)	+10 (+1.5%)	+42.5%
経常利益	28	32	+4	+16.1%
当期純利益※	18	21	+3	+16.1%
為替レート ドル ユーロ	131.62円 138.14円	130円 140円	△1.62円 +1.86円	

※親会社株主に帰属する当期純利益

2023年度業績予想／営業利益増減要因

- ◆ 原材料・エネルギー費、研究開発や人件費等による経費増があるものの、増産効果や原価低減、価格転嫁を推し進め、前年比10億円の増益予想

(単位：億円)



2023年度業績予想 / 設備投資・減価償却・研究開発 The Next **NPR**

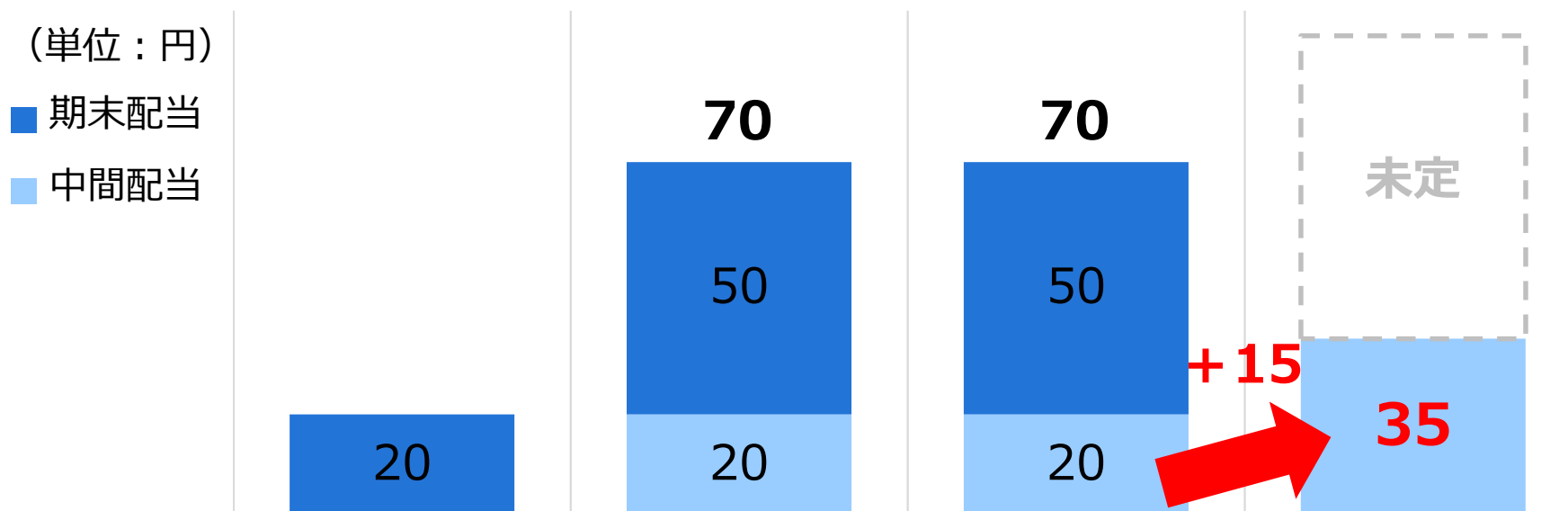
- ◆ 設備投資は、自動化・省力化等の合理化投資や将来を見据えた研究開発投資に加えて、カーボンニュートラルにむけた環境投資にも注力
- ◆ 研究開発費は、カーボンニュートラルに貢献する燃費低減技術や水素エンジン・バイオ燃料等を使用する部品、新製品事業の開発に重点投資する

(単位：億円)

	2022年度 実績	2023年度 予定	増減	増減率
設備投資	31	43	+12	+40.6%
減価償却費	45	43	△3	△5.8%
研究開発費	17	18	+1	+3.8%

株主還元（配当）

- ◆ 方針：配当性向30%程度以上を目安に、**安定的・継続的**な配当を実施
- ◆ 中間：**35円（前年比+15円）**
- ◆ 期末：未定（リケンと共同持株会社設立による経営統合を行う予定のため）



	2020年度	2021年度	2022年度	2023年度 (中間予想)
配当性向	－%	28%	30%	35%

1. 2021年度決算
2. 2022年度業績予想
- 3. 経営戦略**

【参考】会社概要

- ✓ **カーボンニュートラル**に向けた対応が急務
- ✓ 各国の政策や環境規制により**電動化が加速**
- ✓ 内燃機関搭載車（ICE）が減少し、パワートレイン構成に変化
- ✓ **新興国を中心に**自動車需要の拡大が見込まれる
- ✓ **水素エンジン・e-fuel**の開発も進められており、次世代モビリティの選択肢として可能性は残る
(新車の電動化だけではCO2削減が足りないことから、バイオ燃料やe-fuelの大量生産、既存燃料との混合使用も検討が進む)

中期経営計画

経営戦略／第八次中期経営計画の進捗状況 The Next **NPR**

- ▶ 原材料・エネルギー価格の高騰や半導体不足による生産調整等の外部環境変化を受け、利益面の進捗に遅れが出ているが、その特殊要因を除いたところでは、着実な進展が図れている

	2021年度 実績	2022年度 実績	2023年度 予想	第八次中期経営計画 2023年度 目標値
<経営目標>				
・ 連結売上高	508億円	585億円	610億円	540億円以上
・ 営業利益率 (市況高騰影響除く)	5.2% (6.3%)	4.1% (7.7%)	5.6% (9.8%)	8%以上
・ 非自動車エンジン 売上高比率	14%	15%	15%	15%以上
・ R O E	6.2%	5.2%	—	8%以上
<環境目標>				
CO2排出量 (2013年度比)	△37%	△35%	—	△25%

- 第八次中期経営計画の目標達成にむけた具体的な取り組みとして下記の3分野へ重点的にリソースを配分する

I. 既存事業の収益力強化（自動車エンジン）

- ・ 環境規制に対応した高品質の内燃機関部品を提供
- ・ コア技術を活かし、新興国市場へ拡販を強化

II. 新製品事業の育成・確立（非自動車エンジン）

- ・ 医療ビジネスの着実な進展
- ・ M&A・オープンイノベーションを活用した早期事業化

III. サステナビリティ経営の推進

- ・ カーボンニュートラルの実現
- ・ SDGsへの貢献

➤ 医療機器事業

医療用新材料チタンタンタル合金 NiFreet(ニフリート)

- 医療機器への適用を目的とした基礎研究結果を6月12日から16日にイギリスエディンバラ国際会議場で開催されるチタン学会でのプレゼン発表が決定

<発表詳細>

学会名：World Titanium Conference 2023

日時：6月13日(火) 午前8:40～9:00

場所：エディンバラ国際会議場

演題：チタンタンタル合金の特性と微細構造について

発表者：Medtronic社 Bernard Li博士

共同執筆者：日本ピストンリング株式会社

新製品事業開発部 松島・久保

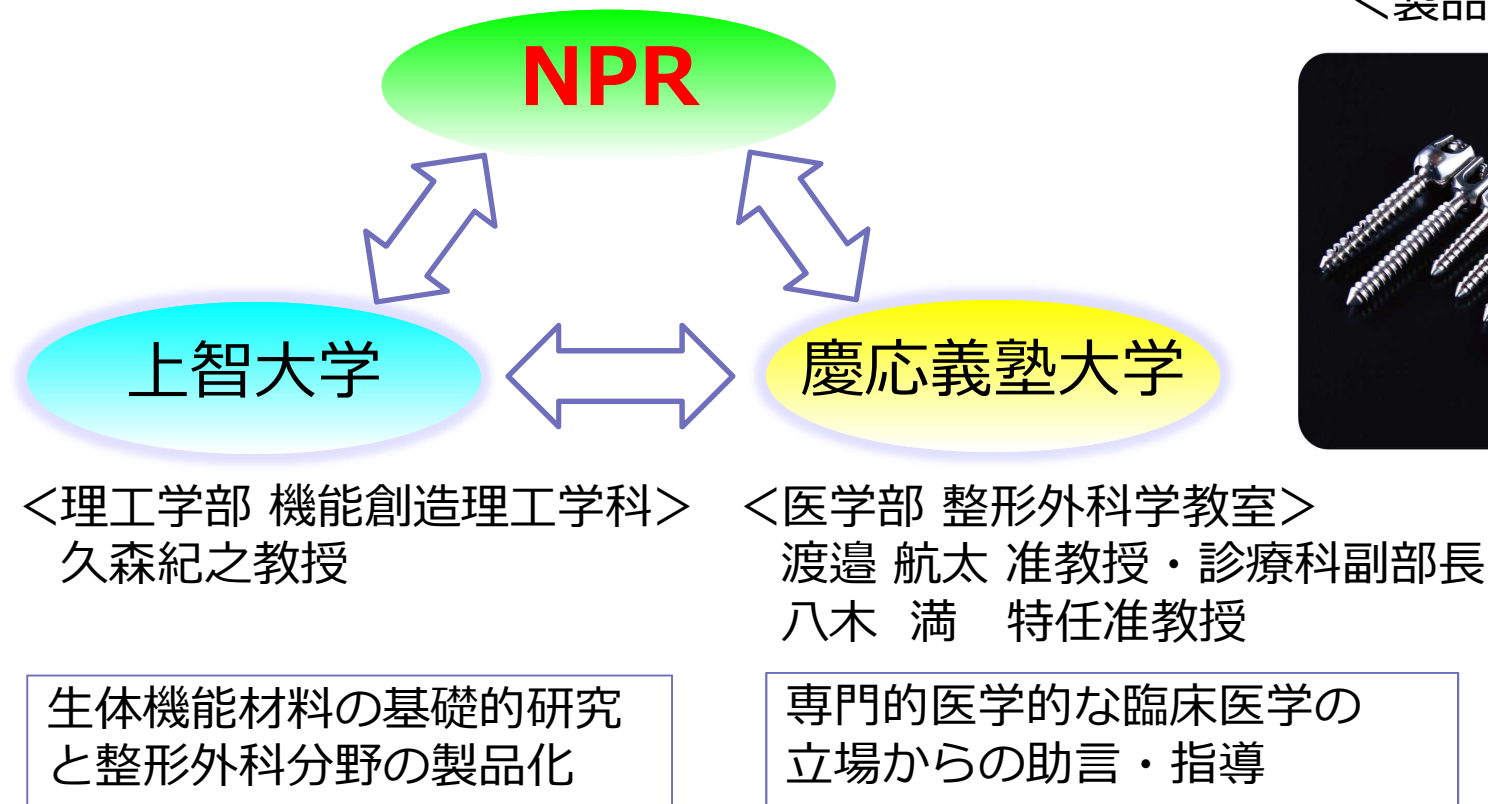
The screenshot shows the IOM3 website interface. The top navigation bar includes 'IOM3 Institute of Materials, Minerals & Mining', 'Membership', 'News', 'Events', 'Resources', 'Careers & Learning', 'About IOM3', 'My IOM3', and 'Logout'. Below the navigation bar, there are tabs for 'Overview', 'Detailed programme', 'Plenary & Keynote Speakers', 'Venue & Travel', 'Sponsors & Exhibitors', 'Registration Information', and 'View my booking'. The main content area is titled 'Programme by day' and shows a grid of sessions for Monday 12 June, Tuesday 13 June, Wednesday 14 June, Thursday 15 June, and Friday 16 June. The session for Tuesday 13 June at 08:40 is highlighted in blue and matches the text in the adjacent box: 'Property and Microstructure of TiTaSn Alloy' by Dr. Bernard Li, Joe Shaw, Hiroshi Matsushima, and Takasumi Kubo.

Day	Time	Session Title	Speaker
Monday 12 June	08:00-10:00	T3 Composition - Microstructure - Properties [3] Characterising Fatigue Crack Behaviour	
Monday 12 June	08:00-10:00	T4 Thermomechanical Processing [2]	
Monday 12 June	08:00-10:00	T5 Biomedical & Healthcare Applications [1]	
Tuesday 13 June	08:40	Property and Microstructure of TiTaSn Alloy	Dr. Bernard Li ¹ , Joe Shaw ^{2,3} , Hiroshi Matsushima ³ , Takasumi Kubo ³

医療用新材料チタンタンタル合金 NiFreet(ニフリート)

- ・慶応義塾大学医学部 整形外科学教室ドクターとアドバイザー契約締結
- ・従来までの基礎的研究に加え、具体的な製品化にむけた共同技術検討を開始
体内埋入時の骨への負担軽減を目指す

<製品イメージ>



MIM工法による医療用チタン合金新材料

- ・ 切削加工が難しいTi-6Al-4V合金材料に対して、新たに金属粉末射出成形工法 (MIM工法)を開発。強みを活かした材料・工法開発により、金属疲労が懸念される医療部材への適用に向けて提案を開始

<強み>

- ・ 高強度 (一般的なMIM工法よりも約40%向上)
- ・ 軽量 ・ 体内でもさびにくい
- ・ 外科用インプラントの標準規格 ASTM-F2885に準拠

<用途例>



骨固定用プレート



歯列矯正器具

医療用表面処理

■ DLCコーティング (体内埋入医療器具)

- ・ ステンレスなどの安価な材料の生体親和性向上



使用イメージ



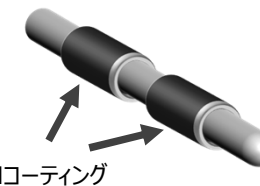
表面写真

■ TiNコーティング (神経刺激装置の電極)

- ・ 表面積拡大、静電容量増加
→ 省電力、バッテリー寿命増加
- ・ 電極の小型化を実現 → 埋入しやすい

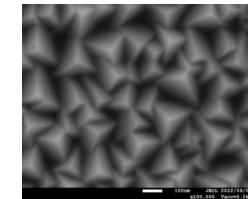


機器イメージ



TiNコーティング

電極先端



表面写真

➤ モータ・ロボット・電動化事業

3D形状圧粉コアを用いた
アキシシャルギャップ型モータ

■ 薄型アキシシャルギャップモータ



想定用途
・ 電動カート
・ 車いす
・ 搬送・農業用ロボット
・ パワーツール 等

外径：Φ180mm
高さ：78.5mm
重量：5.5kg

メタモールド（金属射出成形）工法の
形状自由度、材料自由度を活かし、
ロボット、センサー、CASE関連部品等
に展開、開発試作へ3D積層造形を提案

■ スカラーロボットのボールねじ循環駒



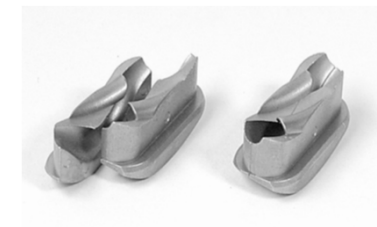
■ 超小型中空アキシシャルギャップモータ



想定用途
・ 協働ロボット関節
・ ドローン
・ ファン 等

外径：Φ34mm
高さ：17mm
重量：65g

■ 電動パワステのボールねじ循環駒



経営戦略／サステナビリティ経営の推進① The Next **NPR**

Nippon Piston **Ring**

Ring the Future 技術の輪で未来を鳴らす

～サステナブルな未来のために～

地球環境との共生



製品を通じた環境貢献
事業活動における環境貢献

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



9 産業と技術革新の
基盤をつくらう



11 住み続けられる
まちづくりを



12 つくる責任
つかう責任



13 気候変動に
具体的な対策を



ステークホルダーとの 共生



お客様満足度向上
従業員の安全と健康
ダイバーシティの実現

3 すべての人に
健康と福祉を



4 質の高い教育を
みんなに



8 働きがいの
経済成長も



10 人や国の不平等
をなくそう



12 つくる責任
つかう責任



持続的な成長のための 基盤醸成



人権尊重
コーポレートガバナンス
コンプライアンスの遵守

8 働きがいの
経済成長も



16 平和と公正を
すべての人に



17 パートナーシップで
目標を達成しよう



PPAモデルの導入（日ピス岩手・タイSNPR）

CO2削減量見込み

日ピス岩手 1,000t/年(2023年10月～)

タイSNPR 294t/年(2023年7月～)



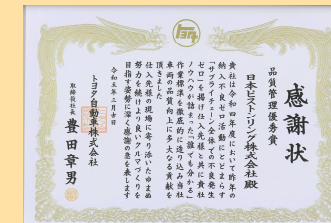
(写真は中国NAPM)

J-クレジットの活用

岩手県と栃木県(栃毛木材工業)より森林由来J-クレジットを購入
事業活動で排出されるCO2の一部をオフセット

トヨタ自動車様「品質管理優秀賞」2年連続受賞

海外拠点や仕入先様を含むサプライチェーン
全体での品質向上活動の内容や不良率低減の
実績が認められたもの



健康経営優良法人2023（大規模法人部門）に認定

2020年より4年連続の認定
健康経営戦略マップを作成し、
より戦略的な健康経営を目指す



2023
健康経営優良法人
Health and productivity

パートナーシップ構築宣言の策定

サプライチェーンの取引先や価値創造を図る事業者の皆さまとの連携・共存共栄を進めることで、新たなパートナーシップを構築することを宣言



グループ人権方針の制定

人権尊重の取り組みについての約束を示し、グループすべての役員と従業員に適用。事業を行う各国・地域の法令を遵守するとともに、多様な価値を活かした事業活動を行うことで、安心して持続可能な社会の実現を目指す

EcoVadis2023年サステナビリティ調査で ブロンズ評価獲得

※EcoVadis社：企業のサステナビリティに関する国際的な評価機関
「環境」「労働慣行と人権」「倫理」「持続可能な資材調達」の4つの分野で評価が行われる



TCFD（気候関連の財務情報開示に関するタスクフォース）

提言に沿った気候関連情報開示



- ▶ プロジェクトチームを新設、サステナビリティ推進室とも連携を図り、ガバナンス・戦略・リスク管理・指標と目標について6月中に開示予定
- ▶ 戦略については、気候変動対策が推進される1.5℃シナリオを想定し、時間軸はICEの変動時期と推定される2030年に設定したリスクと機会を抽出

● 主なリスク抽出

大分類	中分類	小分類	特定されたリスク	影響度
移行リスク	政策・規制	各国の政策	自動車の電動化（脱エンジン）	大
		炭素税	燃料、電気への課税や電気料金高騰	小～中
	市場	エネルギーミックスの変化 エネルギー価格の高騰	エネルギー調達コスト増加	
物理的リスク	急性	自然災害／異常気象の重大性・頻度の上昇（大雨、洪水、台風、水不足等）	工場被災による生産停止	小（国内） ※海外は精査

● 主な機会抽出

大分類	中分類	小分類	特定された機会	影響度
製品／サービス	低炭素商品・サービスの開発・拡大	自動車用エンジン領域	HEV車の更なるCO2排出量削減	大
			燃料のCN化（バイオ燃料、水素、e-Fuel）、既存燃料との混合やB100の使用	大

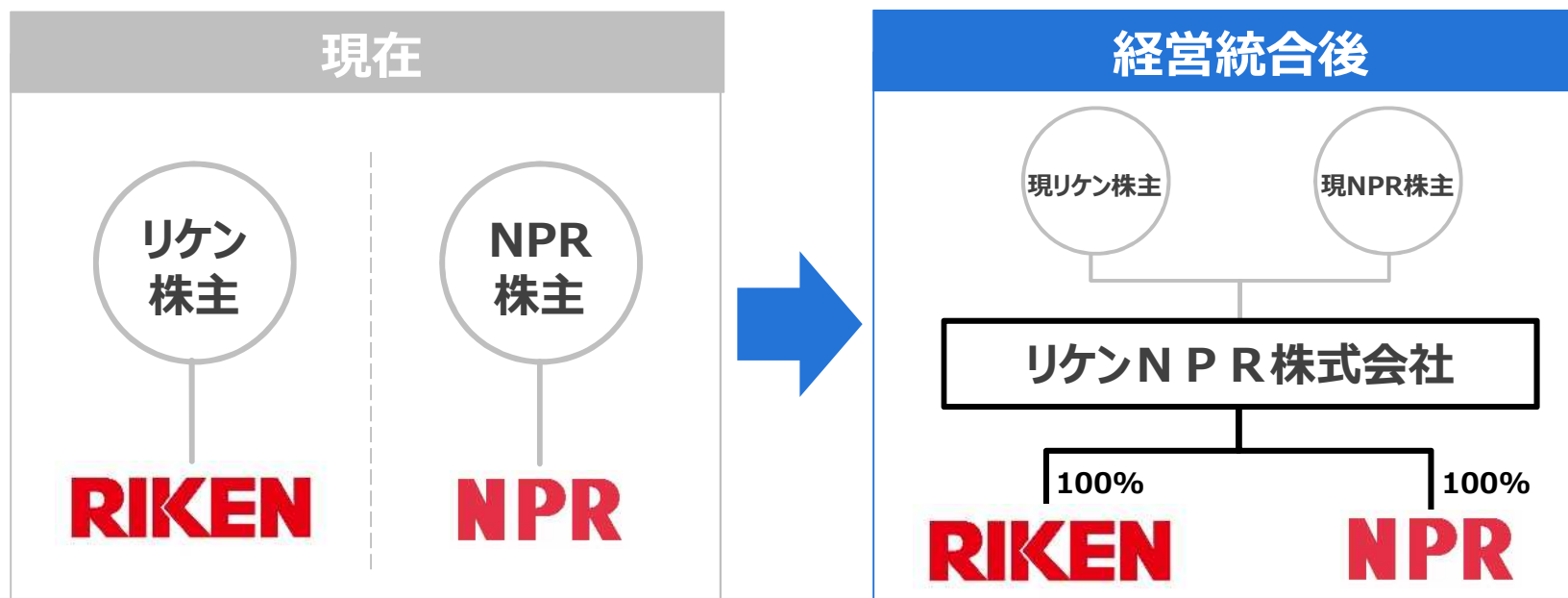


**持続可能な社会の実現に向けて
株式会社リケンと日本ピストンリング株式会社が
経営統合します。***

*本年6月23日の両者定時株主総会での承認を経て本年10月2日の効力発生を予定しております

経営統合の要旨

共同株式移転により、共同持株会社であるリケンNPR株式会社を設立



▼株式移転比率

	リケン	日本ピストンリング
リケンNPR普通株式	2	1.02

▼今後の想定スケジュール（予定）

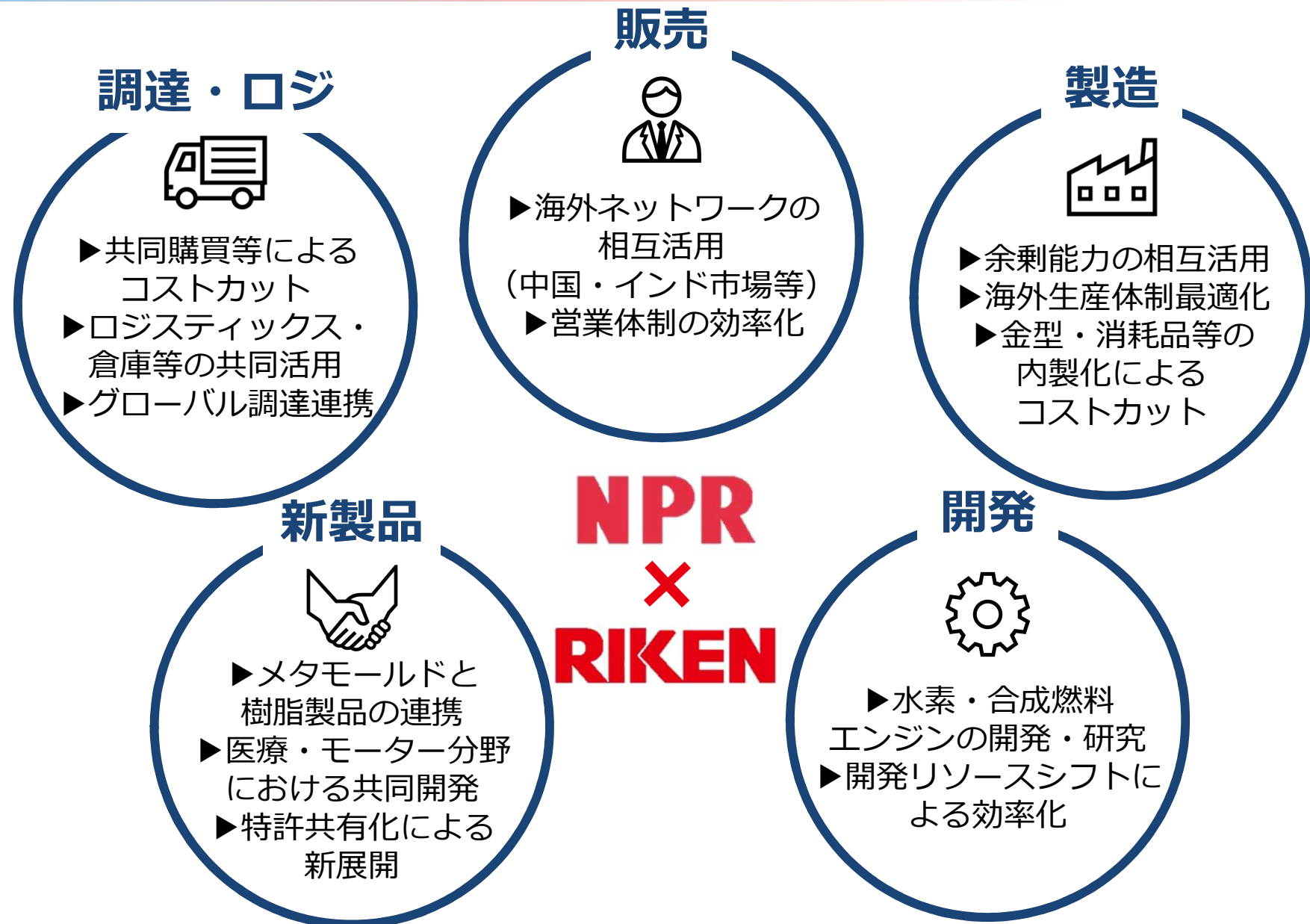


経営統合後の状況

The Next **NPR**

商号	リケンN P R株式会社（英文名：NPR-RIKEN CORPORATION）
事業内容	自動車関連製品、船用・その他の製品の製造・販売等
本店所在地	東京都千代田区三番町8番地1
本社機能所在地	東京本社 東京都千代田区三番町8番地1 さいたま本社 埼玉県さいたま市中央区本町東五丁目12番10号
機関及び役員	1.機関：監査等委員会設置会社 2.代表取締役は2名 代表取締役CEO：前川 泰則（選定予定） 代表取締役COO：高橋 輝夫（選定予定） 3.取締役の構成員：13名 前川 泰則 高橋 輝夫 伊藤 薫 坂本 裕司 坂場 秀博 藤田 雅章 平野 英治 黒澤 昌子 渡辺 孝栄 越場 裕人 本多 修 木村 博紀 佐久間 達哉
資本金	5,000百万円
上場証券取引所	東京証券取引所プライム市場

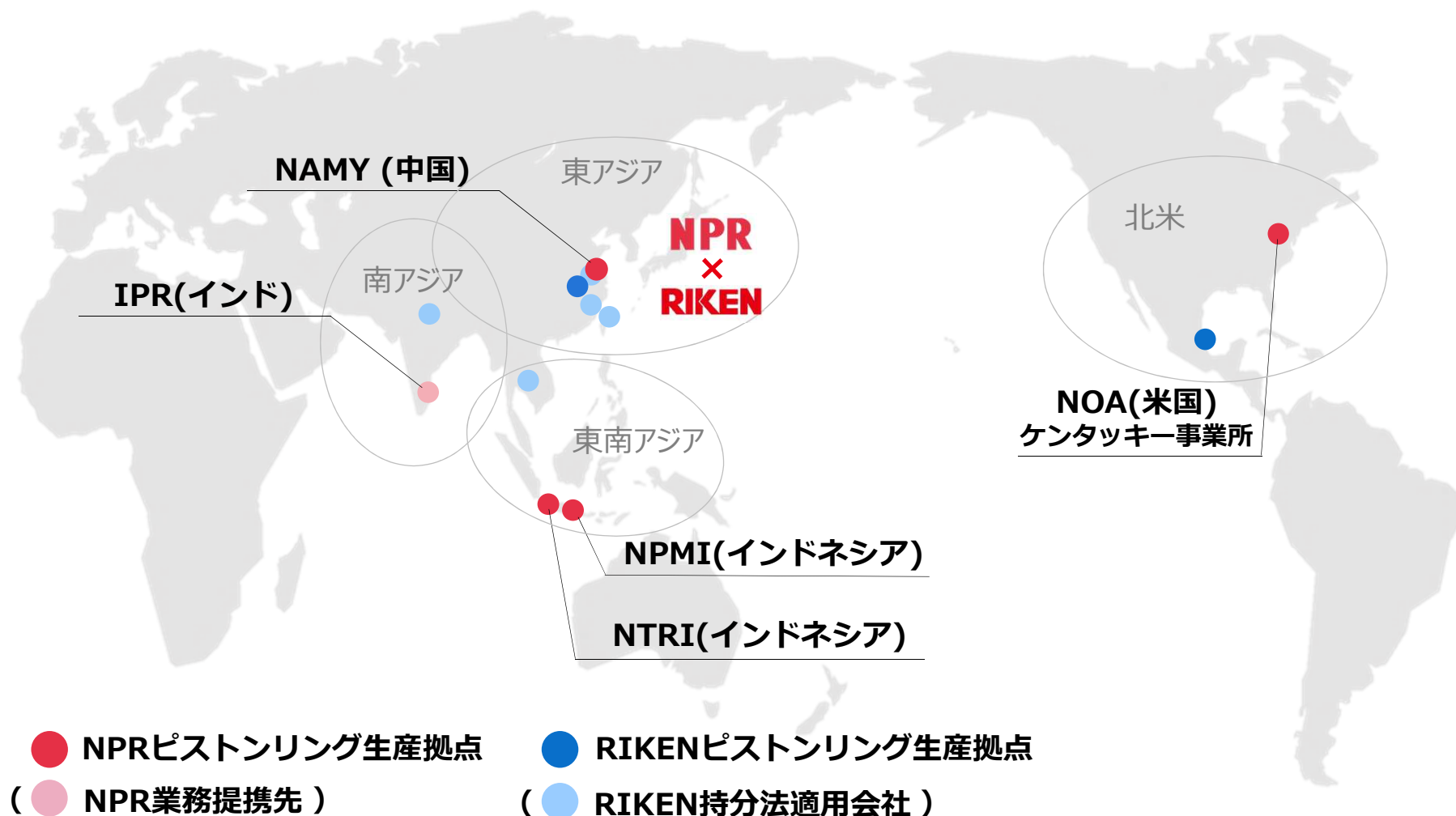
想定されるシナジー一例



※こちらに記載の内容は、現時点で当社が独自に想定しているものです。

想定されるシナジー例 【製造】

- 主力のピストンリング生産拠点の相互利用や最適化を進め、生産性改善、高品質の製品を供給できる体制拡充、投資抑制を実現



※こちらに記載の内容は、現時点で当社が独自に想定しているものです。

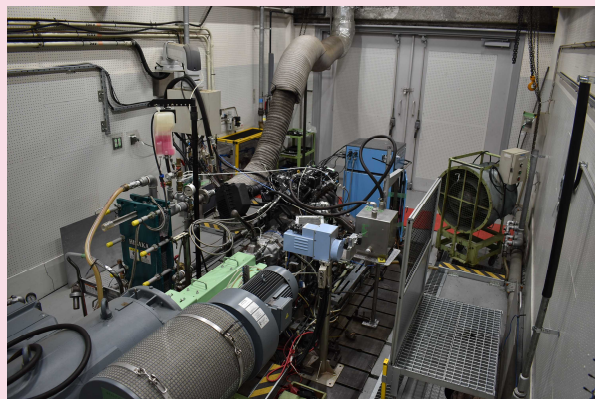
想定されるシナジー例 【開発】

The Next **NPR**

内燃機関のCN化への対応

CN液体燃料、水素の全てに対応

バイオ燃料・e-fuel燃料対応製品開発



新製品事業開発

樹脂との融合による新製品創出

メタモールド技術

Ti-MIM技術

3D積層造形技術



NPR

×

水素エンジン評価用ベンチ設置

RIKEN

精密樹脂成型技術

- ・ シールリング
- ・ 樹脂ギア
- ・ 樹脂波動歯車減速機

Nippon Piston **Ring**

Ring the Future

技術の輪で未来を鳴らす

【問い合わせ先】

日本ピストンリング株式会社 経営企画部

TEL : 048-856-5014

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている内容は、現時点における事業環境に基づくものであり変動する可能性があります。

【本資料における表示方法】

数値：表示単位未満を四捨五入

比率：表示単位未満を四捨五入

※本資料の無断転載を禁じます。

【参考】 会社概要／プロフィール

The Next **NPR**

設立	1934年12月20日
本社	埼玉県さいたま市中央区本町東五丁目12番10号
資本金	98億39百万円
売上高	連結：585億円 個別：349億円（2022年度）
従業員数	連結：3,036名 個別：656名 （2023年3月末時点）
NPRグループ	14社（国内：4社 海外：10社）
販売拠点	国内：東京・埼玉・名古屋・大阪・広島・福岡・仙台 海外：米国・ドイツ・中国・インドネシア・タイ シンガポール・マレーシア・インド
生産拠点	国内：栃木・岩手・福島 海外：米国・中国・インドネシア・タイ・インド

【参考】 会社概要 / 製品構成

The Next **NPR**

自動車エンジン事業

■ ピストンリング

世界シェアトップ5

売上構成比 50%



■ バルブシート

日系トップシェア

売上構成比 20%



■ 組立式焼結カムシャフト ■ 軸受補強材

SUBARU向けトップシェア

売上構成比 5%

売上構成比 2%



非自動車エンジン事業

■ 船用ピストンリング

MAN・三井E&S向け

売上構成比 3%



■ メタモールド

ジェイテクト・THK向け

金属粉末射出成形品



■ 医療

医療機器関連

インプラント関連



■ その他

R V 関連

国内外ブランド取扱



【参考】 会社概要 / 国内拠点



【参考】 会社概要 / 海外拠点

The Next **NPR**

欧州・アジア

ドイツ インドネシア
中国 シンガポール
韓国 マレーシア
タイ インド

9カ国に17拠点
海外売上比率60%
海外従業員1,500名

北米

ケンタッキー ミシガン
デトロイト ロサンゼルス
ミネアポリス



【参考】 会社概要 / 主要取引先

The Next **NPR**

国内



ISUZU



UD TRUCKS



FUSO

Kubota

海外



Mercedes-Benz



RENAULT



Audi

STELLANTIS



广州汽车
GUANGZHOU AUTOMOBILE



HYUNDAI



TRIUMPH



TENNECO

MAHLE



DONG YANG PISTON